

メイ首相、涙の退任受け入れへ

～6月に後継党首の選出日程を明らかに～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

◇ メイ首相は6月第1週に予定する離脱協定法案の第二読会後に、後継党首選の日程を明らかにすることを受け入れた。見切り発車で法案審議を開始する最後の賭けも失敗に終わる可能性が高く、失意のまま首相の座を退くことになりそうだ。議会の夏季休会中に後継党首が選出され、休会明けの秋に強硬離脱派の新首相が誕生しよう。議員投票段階での「ストップ・ボリス」の試みが成功しない限り、ジョンソン元外相に英国の離脱実現と保守党再建が託される。

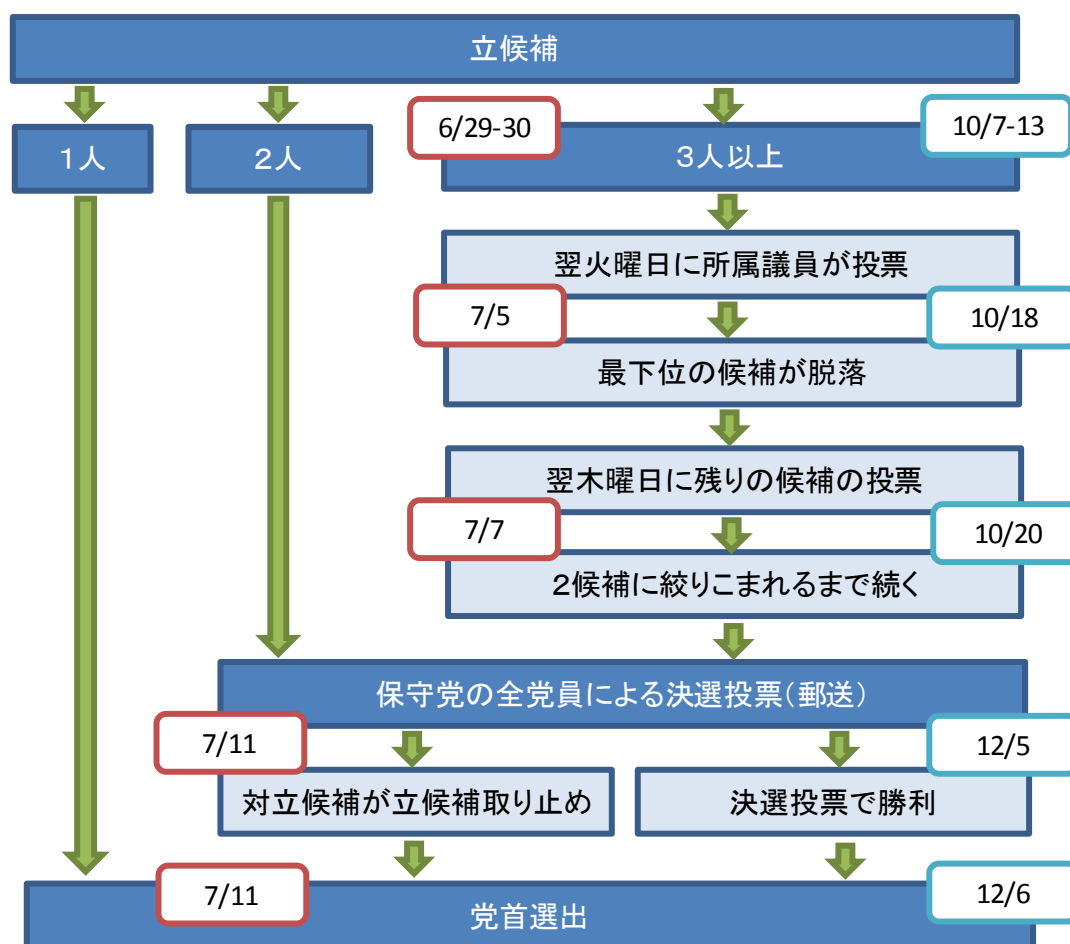
16日に保守党内の非閣僚議員を代表する1922年委員会の幹部と面会したメイ首相は、6月第1週に後継党首の選出日程を明らかにすることを受け入れた。会談後に同委員会が発表した声明は、「首相はEUからの離脱の実現を目指し、6月3日に始まる週に離脱協定法案の第二読会を行い、夏までに法案を成立し、EUから離脱することに努力をささげている。メイ首相と私（ブレイディー委員長）は同法案の第二読会後に会談し、保守党の新たな党首を選出する手続きの日程に合意することを約束した」とあり、その内容は首相の了承を得たものとされる。ブレイディー委員長は、離脱協定法案の第二読会の採決（6月5日が有力視）が可決するか否かを問わず、保守党の後継党首選出が行われることを意味すると発言。メイ首相はこれまで離脱実現後に退任する意向を示唆してきたが、離脱協定法案の採決が失敗に終わった段階で退任することを事実上受け入れた。同委員会の幹部は、もし首相が約束を破棄すれば、党首不信任手続きの党則を変更し、6月12日に不信任投票を可能にすると忠告している。これとは別に、同月15日には保守党の一般党員が非公式の党首不信任手続きを予定している。

首相が望みを託した与野党協議がまとまる見込みは立たない。メイ首相の退陣が近づいていることが、合意の可能性をさらに後退させよう。仮に関税同盟への永久残留で両党が合意したとしても、メイ首相の後継党首が合意を破棄することがほぼ確実なためだ。労働党の幹部は、正式な与野党合意がまとまらない限り、離脱協定法案への協力を拒否している。保守党に閣外協力する北アイルランドの地域政党・民主統一党（DUP）の関係者も、反対票を投じることを示唆している。結局、四度目の合意受け入れ採決を行わないまま、離脱協定法案の議会審議に入る首相の最後の賭けも失敗に終わる可能性が高い。メイ氏は離脱を実現できず、保守党を窮地に陥れた首相として、歴史に名を刻むことになりそうだ。

保守党の党首選は、3名以上の立候補者がいる場合、火曜日と木曜日に議員投票を行い、投票毎に最下位の候補が脱落、2名に絞り込まれるまでこれを繰り返す（図）。候補が2名に絞り込まれた段階で、一般党員による郵送の決選投票が行われる。全体で2ヶ月程度を要するとみられ、議会の夏季休会（7月24日～9月3日）中に党首選出手続きを終え、保守党の党大会（9月29日～10月2日）前に新たな党首が就任するスケジュール感となろう。秋に再開後の議会での内閣信任投票を

得て、後継党首が新首相に就任するとみられる。ブックメーカーの賭け率をみると、16日に後継党首選への出馬を表明したボリス・ジョンソン元外相がトップ、ドミニグ・ラブ元EU離脱担当相、マイケル・ゴープ環境相、ジェレミー・ハント外相、マット・ハンコック保険相、ロリー・スチュワート国際開発相、サジド・ジャビド内相、ペニー・モーダント国防相、アンドレア・レッドサム下院院内総務と続く。保守党は欧州議会選挙での大敗が確実視、6月6日の下院補欠選挙でも苦戦が予想され、国政選挙の世論調査でも支持率低下に歯止めが掛からない。ブレグジット党に失った離脱支持層を取り返すためには、やはり強硬離脱派の後継党首就任の可能性が高い。決選投票に残れば、一般党員に絶大な人気を誇るジョンソン元外相の勝利が確実視される。ジョンソン首相誕生は、議員投票の過程で「ストップ・ボリス」の動きが出てくるか次第だろう。ジョンソン元外相に離脱実現と保守党再建が託される。

(図) 英保守党党首選のプロセス



注： は2016年の党首選、 は2005年の党首選での実際の日程
出所：第一生命経済研究所が作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。